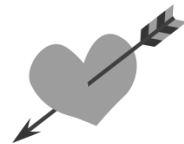


慈明院寺報 四月号

毒矢のたとえ



冬が過ぎ、春の日差しが感じられるこの頃、境内の梅も満開である。四月八日は花まつり、お釈迦様の誕生日をお祝いする。お釈迦様は、紀元前五世紀くらいに実在した人間である。その生涯で様々な説法を行い、後の世に生きる人々に仏教という道しるべを残された。

そのお釈迦様の弟子に、マールンクヤという男がいた。彼は「この世が永遠か無限か」「死後は存在するのか」といった難題を、頭ばかり考えて悩んでいた。そしてある時、お釈迦様に直談判して死後の世界について質問した。

お釈迦様は静かにこう諭した。「ある男が、どこからか飛んできた毒矢に射られた。ところが矢の刺さった男は、矢を射た者の名前と年齢、素性、矢と毒の材質や材料が全てわかるまで、この矢を抜いてはならないと言って、矢を抜き手当するのを拒んだ。そして男は毒がまわって死んでしまった。」

「死後を知ろうとしても、現世で修めるべき事をおろそかにしては、何も得られず死んでしまうだけである。やらなければならないのは、今現在において怠る事無く修行を實踐して、成就させる事である。」

お釈迦様は「死後の世界」や「宇宙の果ての有無」などの質問に、一切応じる事は無く、沈黙（無記）を貫いた。わかるはずのない事をあれこれと考えるのは、根本的な生きる苦しみを解決する為に「いま」成すべき事でないと考えたのである。今日一日やるべき事を地道に積み重ねて、あふれすぎる情報に心が振り回されないように生きていきたいと思う。

住職 合掌

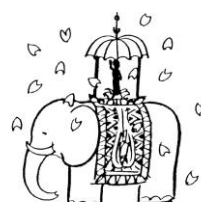
春のお彼岸参りについて

本年は通常通り、三月十八日より春のお彼岸参りをお勤めさせて頂きます。各檀家様には、すでに「お彼岸参り」のお知らせを送付させて頂いております。お忙しい時期とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。随時、お参りについてのお問い合わせ、変更など承ります。

住職 九拝

花まつり 自由参拝のご案内

令和四年 四月一日（金）～ 四月八日（金）



朝九時～夕方五時位迄

花御堂に誕生仏（お釈迦様）を安置して、甘茶をそそいでご供養致します。甘茶、お楽しみ袋（お菓子詰め合わせ）をお接待致します。花御堂のお釈迦様は大師堂に安置しております。大師堂へお参り下さい。どうぞお問い合わせの上、お参り下さいませ。（別紙参照）

住職の独り言

愛知県で働いている弟から電話があった。遠方に住んでいるしコロナの事もあってしばらく会っていない。久々の電話で何事かと思ったら、母が夢枕に立ったらしく心配して電話したそうだ。お袋さんは俺より元気ですよ（笑）

慈明院（〒八一一一三三三 福岡市早良区大字西二三四一〇）

TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四